

# AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

日本皮膚科学会雑誌 (2006.05) 116巻5号:698.

皮膚病理診断演習 ちょっと珍しい病気

山本明美

皮膚病理診断演習。ちょっと珍しい病気

山本明美

旭川医大、皮膚科

日常の皮膚科診療における病理診断の重要性は誰でも認めるところだが、実際に経験したことのない疾患では診断にたどりつくまでに時間がかかることも多い。一度、病理組織像を見ておくだけで診断はかなり容易になると思われるので、本セミナーでは演者らの施設で最近経験した、比較的珍しい疾患の標本を供覧し、皆様に診断を考えていただく。さらに臨床像を提示したあとでもう一度、診断を見直し、最後に演者の診断を述べる。クイズ番組を見るような気軽な気持ちで参加して、一緒に楽しんでいただき、そして少しためになったと思っていただければ幸いである。次は供覧予定の症例のひとつであるが、この抄録に組織像は掲載できないので、詳細は当日までのお楽しみとする。

症例：42歳、女性。右下眼瞼の腫瘤を主訴として受診した。真皮内に多数の泡沫細胞、膠原線維の変性、リンパ濾胞様構造を認める。診断は何か？